

令和4年度

学校説明会

調布市立第七中学校



校長 山田 勝

学校説明会 令和4年 9月10日(土)
14時00分～14時40分

- 1 校長挨拶
- 2 教務部より
- 3 生活指導部より
- 4 進路指導部より
- 5 保健給食部より
- 6 教材費について
- 7 はしうち教室
- 8 七中ボランティアネットワークについて
今後の入学に向けての予定 等

〒182-0015

東京都調布市八雲台2丁目16番地1

TEL 042(487)4521 FAX 042(499)4195

交通：京王線 国領駅北口 徒歩8分

【はしうち教室】

調布市菊野台3丁目27番地38

市民大町スポーツ施設内

TEL/FAX 042(483)0481

本校の概要

1 学校の沿革概要

昭和	51. 4. 1	調布市柴崎町 100 番地 1 に開校	初代校長 村越 重信 着任
	51. 4. 7	第 1 回入学式 (1 年 205 名 2 年 181 名 計 386 名)	※2 年生は神中と三中より移籍
	51. 5. 15	校舎建設工事完成	
	51. 6. 7	開校記念式典挙行	
	52. 2. 15	校章制定	
	52. 3. 1	校歌制定	
	52. 4. 1	学級数 15 生徒数 603 名	
	52. 6. 5	校歌、校章制定並びに体育館落成式典挙行	
	53. 3. 20	第 1 回卒業式 卒業生 184 名	
	54. 3. 30	校舎増設工事完成 (356 m ²) (普通教室 4)	
	57. 4. 1	第 2 代校長 寶珠山 琢 着任	
	60. 4. 1	第 3 代校長 長江 宏 着任	
	61. 4. 1	情緒障害学級 (相談学級) 開設	
	61. 11. 7	開校 10 周年記念式典挙行	
平成	2. 4. 1	第 4 代校長 井桁 瑛子 着任	
	5. 4. 1	第 5 代校長 高野 安弘 着任	
	8. 11. 2	開校 20 周年記念式典挙行 「けやき庭」設置	
	9. 4. 1	第 6 代校長 甲斐 智也 着任	
	13. 4. 1	第 7 代校長 菊山 直幸 着任	
	18. 3	給食用エレベータ工事完了	
	18. 4. 1	第 8 代校長 根深 得英 着任	
	18. 4. 17	給食開始 (柏野小との親子方式希望制完全給食)	
	18. 11. 17	開校 30 周年記念式典挙行。冷水器設置	
	20. 4. 1	第 9 代校長 賀川 秀人 着任	
	20. 8	校舎の耐震補強工事完了	
	23. 4. 1	第 10 代校長 田代 和正 着任	
	23. 6. 30	普通教室全室冷房化	
	26. 4. 1	第 11 代校長 吉岡 俊幸 着任	
	28. 4. 1	教育目標改訂 新制服制定	
	28. 11. 2	開校 40 周年記念式典挙行	
	31. 4. 1	第 12 代校長 小坂 力 着任	
令和	3. 4. 1	第 13 代校長 山田 勝 着任	
	4. 3. 19	第 45 回卒業証書授与式 卒業生 127 名 (卒業生総数 6543 名)	
	4. 4. 7	第 46 回入学式	
		新入生<本校>142 名 クラス数 5 <はしうち> 2 名 クラス数 1	



2 教職員数・施設 (令和 4 年度)

	男	女	計
校長	1		1
副校長	1		1
主幹教諭	2	1	3
主任教諭	1	5	6
教諭	11	3	14
主任養護教諭		1	1
非常勤講師	4	2	6
事務		2	2
技能主事	2		2
SC, SS, SSS		5	5
図書司書		1	1
栄養士		1	1
計	22	21	43

管理室等	20 室
普通教室	14 室
特別教室	13 室
体育館 (m)	31×19
校庭 (m ²)	7,100
プール (m)	25×15
けやき庭 (m)	20×10
建物面積 (m ²)	4,519
校地面積 (m ²)	13,840



学校経営方針

校訓 「 自尊 ・ 立志 ・ 感動 」

～徳・知・体の調和のとれた生徒の育成～

「徳」自尊 自分を大切にし、思いやりの心をもつ生徒
「知」立志 夢や目標をもち、絶えず学び続ける生徒
「体」感動 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒
そのため、生徒、保護者、教職員及び地域住民が第七中学校に魅力と誇りを実感できるよう「地域協働の学校」作りを目指す。

【目指す学校像】

生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校

【目指す職員像】

- 愛情と理性をもって、生徒に本気がかかわる職員
- 健康で自己の強みを理解し、生かすことのできる職員
- 指導の目的を共有し組織力の向上に努める職員

令和4年度の重点課題

(1) 健全育成

人権意識の醸成と予防的・生活指導の充実、「聴きあえる集団づくり」関係機関との組織力の向上

(2) 学力向上

「主体的・対話的で深い学び」の実践による「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の向上に向けた授業実践

(3) 「はしうち教室」

「心の居場所」づくり、新たな学びの提供、社会的な自立を目指した教育活動の実施

(4) 保護者・地域との連携

地域学校協働本部による教育活動の活性化、地域協働による校内外の教育環境の改善・充実

(5) 特色ある教育活動

生徒会や七中 VNW によるボランティアマインドの醸成、世界ともだちプロジェクトの推進

課題達成に向けた取り組み

～教育活動全般にわたる七中スタンダードの確立～

(1) 健全育成

- 「学校いじめ防止対策委員会」によるいじめの未然防止・早期発見・解決のための組織対応の徹底
- トラブルを学びに変える指導の徹底
- 聴き合える人間関係の構築
- 予防的・生活指導の実施
(あいさつ・聴く・時間を守る・清掃活動)
- 人権意識の醸成
*「特別の教科 道徳」を要とした取組
- 生徒の微細な変化・変容を見極める目
- 多様性への対応

(2) 学力向上

- 「できる喜び」「伸びる喜び」「集う喜び」のある授業づくり
- 「学びに向かう力を高め、教科の目標を達成させるための工夫」を目指した授業改善の継続
- 計画的な研修会の実施

(3) 「はしうち教室」

- カリキュラム検討
- 丁寧な個別指導の実戦
- 七中本体との共通実戦、人的資源の共有・活用の推進

(4) 保護者・地域との連携

- 地域学校協働本部との協働の推進
(自習教室放課後講座の実施、放課後の活動支援)
- あいさつ運動
- 3R 活動等
- 潤いのある環境づくり(校内外・地域)

(5) 特色ある教育活動

- 七中 VNW による地域への発信・貢献

★教育公務員としての自覚と責任感

服務事故を起こさない、相互啓発に努める職場環境づくり

*働き方改革の推進

○ 学習について

1 年間授業時数と週時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	総合	道徳	学活	計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	50	35	35	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	70	35	35	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	70	35	35	1015

- ◇ 授業の1単位時間は50分です。
- ◇ 1年間は35週と考えます。1週間29時間の実施です。
5時間授業の日が1日（水）、6時間授業の日が4日（月・火・木・金）です。
- ◇ 新学習指導要領では、新しい時代を生きるために必要な力を三つの柱として挙げています。
・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・学びに向かう力、人間性

2 特色ある授業形態

- ◇ 数学科では少人数習熟度別、英語科では少人数授業を行っています。
2クラスを3クラス（1クラスを2クラス）に編成し直して授業をします。
- ◇ 英語科では、外国人講師の先生とティームティーチングで授業をすることがあります。
- ◇ 保健体育科では、男女共修の授業を行います。

3 情報端末を使用した授業の実施

本校では全校生徒にChromebookを貸与し、Google Classroomを活用しての授業はもちろん、必要に応じてのオンライン授業や課題の配信提出等を実施しています。また、各教室にプロジェクターを設置しており、大画面での資料提示による視覚効果を高めた授業の実施を進めています。

4 評価・評定・通知表

平成14年度の学習指導要領の改訂により絶対評価となり、学習指導要領に示されている目標をどれくらい達成しているかによって評価評定されるようになりました。七中では、学年の始めに指導計画・評価計画を公開し、学習内容や単元の目標、評価方法や評価場面を事前に知らせ、学習の動機付けをした上で授業を実践しています。

通知表は、各学期の終業式に渡すこととなります。評定は観点別評価で行い、どこができてどこができなかったのかを明確にするため、『通知表の見方』というプリントを通知表と同時に配布します。通知表と通知表の見方を見ることにより、現在の生徒本人が置かれている状況を知り、今後の学習方法や学校生活を改善する資料になると期待しています。

- ◇ 観点別学習状況の評価は、評価の観点ごとに、A・B・Cの3段階で行います。

「十分満足できる」 : A (80%以上)
「おおむね満足できる」 : B (50%以上80%未満)
「努力を要する」 : C (50%未満)

- ◇ 各教科の評定は、各教科の学習の状況を総括的に評価するものです。

観点別学習状況の評価をもとに、5・4・3・2・1の5段階で行います。

「十分満足でき、特に高い程度である」 : 5 (90%以上)
「十分満足できる」 : 4 (80%以上90%未満)
「おおむね満足できる」 : 3 (50%以上80%未満)
「努力を要する」 : 2 (20%以上50%未満)
「一層の努力を要する」 : 1 (20%未満)

○ 生活指導について

1 登下校について

- (1) 始業時間は午前 8 時 30 分、下校時間は午後 3 時 55 分（水曜日は午後 2 時 55 分）です。
- (2) 欠席・遅刻・早退・見学などの連絡は以下の方法となっています。
 - ① 当日 8:15 までにメールを送る。② 電話 (8:00~8:15 の間)※事前に予定がわかるものについては、生徒手帳に記入し担任に提出。
※メールアドレス：chofu7-kesseki@chofu-schools.jp 電話番号：042-487-4521
※メールについては必ず保護者から送信
- (3) 下校の際はコンビニなどへの寄り道は認めていません。
- (4) 七中は徒歩通学です。自転車通学は認めていません。区域外につきましては公共交通機関の利用を認めています。また、登校後放課後までの外出は認めていません。学校活動中に忘れ物などを取りに帰ることも禁止しています。

2 学習について

- (1) 始業のチャイム時点で、自分の席についており、学習の準備を済ませておくように声かけをしています。
※このことを「チャイム着席」といい、授業の規律を整えるために大事にしています。
- (2) 授業では先生の話を中心して聞く、板書を丁寧にノートに記入する、自分の意見を積極的に発表する、お互いの意見を共有するという点を重視し、充実した家庭学習につながるような授業内容を目指しています。
- (3) 授業に必要なものは前日の夜に準備するよう指導しています。また、学校からの配布物をご家庭で提出させるよう声かけをお願いしています。

3 生活のきまりについて

(1) 服装

- ① 標準服を着用し、ワイシャツ、ブラウスは白色とします。ワイシャツやブラウスの下に着るアンダーシャツも無地で白色としています。
※女子はスカートの代わりに女子用ズボンを選ぶことも可能です。
また、セーラージャケットの代わりに、男子用のジャケットの着用も可能です。
(この場合、セーラージャケットにはリボン、男子用ジャケットにはネクタイの組み合わせとなります。)
- ② 靴下は白・黒・紺・グレーを基本としています。
- ③ 冬季は防寒のため、学校指定のセーターをブレザーの下に着用してもかまいません。防寒用のコートなどの指定はありません。派手でないものを着用させてください。
- ④ 儀式的行事や全校生徒が集まるとき（全校朝礼や生徒会朝礼など）は正装とし、ネクタイやリボンを着用します。（※ただし、夏季はネクタイ・リボンをつけなくとも良い。）
- ⑤ 通学用の靴は特別な指定はありませんが、体育授業で使用できる運動靴が望ましいです。
- ⑥ 上履きは体育館履き兼用で、学年カラー（令和 5 年度入学は黄色）の線が入ったものとし、ます。
- ⑦ 体育着（ジャージ、Tシャツ、ハーフパンツ）は本校指定のものがあります。
- ⑧ 部活動では部指定のユニフォームや練習着、または学校指定の体育着で活動します。

(2) 頭髪

- ① 中学生らしい頭髪を心がけています。
- ② パーマをかけたり、整髪料をつけたり、染色等は認めていません。
- ③ 髪留めは派手でないものとしています。また、体育の授業時にはピンをはずさせています。

(3) 持ち物

- ① 鞆は特に指定はありませんが、機能的なものを使用させるようお願いしています。
- ② 学習に必要なものの持参は認めていません。(携帯電話、お菓子類、遊び道具、カードゲーム、雑誌、漫画など)。
- ③ 不要な金銭の持参を認めていません。集金など、必要があって持参した場合、必ず朝のうちに先生に預けるよう指導しています。

4 部活動について

部活動は希望制です。授業とは別に行う活動で放課後や休日に行っています。活動に必要な経費は部費として徴収しています。現在調布七中では以下の13の部(運動部8、文化部5)が活動しています。新年度担当する顧問が確保できない場合、新規募集を行わない可能性もあります。

陸上競技部(男女)	バスケットボール部(男女)	バレーボール部(女)	野球部(男女)	
テニス部(男女)	卓球部(男女)	バドミントン部(男女)	サッカー部(男女)	
吹奏楽部(男女)	合唱部(男女)	美術部(男女)	将棋部(男女)	文芸部(男女)

※ 柔道や剣道、水泳等、個人種目で中体連主催の大会に参加できる場合もあります。学校外で活動していて大会参加を希望される場合は相談してください。

※ 入部の流れ (部活動の入部は、お子さんの適正を考えてアドバイスをしてください)

4月初旬 部活動オリエンテーション(体育館)

仮入部(4月中に体験入部ができます。)、入部届配布

4月中旬 入部届を各顧問に提出

4月下旬 部活動保護者会

・全体会(部活動顧問紹介、部活動規約説明)・各部ごとに部会

5 生徒会活動について

本校には6つの専門委員会(生徒・生活・美化・図書・放送・保健給食)と2つの実行委員会(体育・文化)があり、生徒会本部役員(7名)を中心に活動しています。

生徒会本部役員は生徒会新聞の発行や小学生を対象とした説明会(七中見学会)、入学後の新入生オリエンテーションの運営、定期的なボランティア活動などを実施しています。

各専門委員会は月1回の定例会議と日常的な活動(図書室の運営、放送活動、挨拶運動など)を行っています。また、生徒総会では学校内の問題点やきまり等について話し合いをし、よりよい学校生活を目指し自治活動を行っています。9月に本部役員の改選があります。

※ 専門委員会・係活動について

自治意識や責任感を育てる目的で、一人一役以上の委員会・係の仕事が割り当てられます。

生徒会本部、生徒委員会、生活委員会、保健給食委員会、美化委員会、放送委員会
図書委員会、体育実行委員会、文化実行委員会、選挙管理委員会、各教科係等

○ 進路指導について

1 令和3年度卒業生進学先一覧

	高等学校							高等専門学校	専修学校	就職	未定 その他	合計
	国立	都立		私立(都内)			都外					
		全日制	定時制	全日制	定時制	通信制						
男子	0	27	0	29	0	1	3	0	1	0	1	62
女子	0	31	4	32	0	1	4	0	1	0	0	73
計	0	58	4	61	0	2	7	0	2	0	1	135

2 総合的な学習の時間の取り組み

本校の総合的な学習の時間は、「豊かな人間性を培うこと」をねらいとし、コミュニケーション能力の育成や向上を促し、様々な事柄について調べ、まとめ、表現・発表する活動を、発達段階に応じ各学年毎に実施しています。

(1) コミュニケーション能力の育成・向上を目指した学習

最近の子どもたちは、自分や他者の感情や思いを表現したり、他者の気持ちを受け止めたりするための語彙や表現力及び理解力が乏しく、他者とのコミュニケーションが図れないケースも多く見られます。そこで、本校では「豊かな人間性を培う」ためにはコミュニケーション能力の育成・向上が極めて重要なポイントになると考え、コミュニケーション能力の育成・向上について取り組んでいます。

◇コミュニケーション講座

1回あたり2時間続きで授業を実施します。この授業をコミュニケーション・ワークショップと呼び、楽しみながら学習を実施しています。この学習のねらいは、次に示すとおりです。

- ① 個性を生かした自己表現の方法について学習し、より良い人間関係を築く。
- ② 学習を通し相手を認められる心を養う。
- ③ メンタルトレーニングを通し強い心の育成を図る。

(2) 様々な事柄について調べ・まとめ・表現・発表する能力を高める学習

<第1学年>

◇中学校での班、学級、学年としての集団行動のマナーを身に付ける学習

野川散策を計画、実践することにより、互いの人間関係作りを通したコミュニケーション能力の育成を図ります。

◇地域について調べ、発表する学習

調布市内の伝統文化、地域の特色、文化施設について調べ、理解を深め、表現、発表する能力を培います。

◇身近な職業について、調べ、発表する学習

職場体験学習の前段階として、様々な職業について調べ、理解を深め、身近な人々からの話を聞くことにより職業についての意識を高める学習を実施します。

◇姉妹都市木島平村について理解を深める学習

スキー移動教室で訪れる姉妹都市木島平村について、調べ、体験する学習を実施します。

<第2学年>

◇職場体験学習

本校では2年次に、5日間の職場体験を実施します。保護者や地域の方々の支援を受け、多くの事業所に受け入れてもらっています。目的は以下の通りです。

- ① 「働くこと」の意義を学ぶ。
- ② 自分の課題を見つけ、それを解決しようとする態度・能力を身につける。

③ 自分の能力や適性について理解を深め、進路決定に向けて考える機会にする。

④ 礼儀作法や言葉遣いなど社会人としてのマナーを学ぶ。

⑤ 体験内容をまとめ、わかりやすく発表するための技能と能力を身につける。

事後学習として、体験した仕事の内容や「働くこと」について考えたことなどをまとめて発表します。

◇進路学習

「なぜ勉強するのだろうか?」「働くとは?」の問いかけから進路について学習していきます。

また上級学校調べを通して、自分の進路について向き合う時間を設けます。

◇都周辺の伝統文化について理解を深める学習

東京都内の歴史や文化施設を訪問することで、より広い視野で自分たちが生活する東京をとらえる視点を養うことを目的に実施しています。また、班行動を通して一人ひとりの個性や能力の違いを知り、互いに尊重しあい、協力しあう態度を育成します。行ったことがない施設を見学することで、東京の良さを再発見することができます。また、交通機関やその時刻の事前学習等は、次年度に実施する修学旅行につなげていくこともねらいとしています。

<第3学年>

◇京都、奈良を訪れ、日本の歴史、文化について調べ、まとめ、表現、発表する能力の向上を図る学習

修学旅行で訪れる古都の歴史、文化について調べます。様々な施設、文化遺産、伝統芸能などについて、学習、見学、体験を通し理解を深めます。また、その内容を工夫してまとめ、表現、発表する能力を向上させます。

◇進路選択に関する学習

上級学校について調べ、高等学校訪問など一人一人に適した進路選択を考えていきます。

上記のことに加えて、SDGsにある17の目標を照らし合わせて、生徒一人ひとりが課題設定し、それを解決するために学んだことや考えたことをまとめ、表現する活動を行っています。

3 道徳

本校の道徳は、「主体的に判断し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」・「自らを律する心や他者を思いやる心など豊かな人間性を育む」ことをねらいとして取り組んでいます。

学年	指導の重点
1年生	所属する集団の中での自己の役割と責任を自覚し、自主的に考え判断し、誠実に実行する態度を育てる。
2年生	生命の尊さを認識させ、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
3年生	色々なものの見方や考え方があることを理解し、謙虚に他に学ぶ広い心を育てる。

4 特別活動

本校の特別活動は、「生涯に亘ってたくましく生きていくため資質・能力の基礎を培う」・「多様な体験的な活動を通して望ましい人間関係を育成する」ことをねらいとして取り組んでいます。

(1) 体づくりの基本となる食育やコーディネーショントレーニングを計画的、継続的且つ組織的に推進していく。

(2) 健康の保持増進や体力向上のために校内研究を推進する。

(3) 様々な活動形態を工夫し集団への所属感や連帯感を築くとともに、豊かな人間性をはぐくむ。

(4) 生徒の自治活動の活性化を図り、一体感のある取組で達成感のある活動を目指す。

キャリアパスポートを活用し、学級活動や行事等の取り組みを記録として残していきます。それを適宜振り返り、生徒の成長を支援していきます。

○ 保健・給食・教材費・その他について

1 保健について

- (1) 中学校生活を心身共に健康的にスタートさせるために、規則正しい生活のリズム、身の回りの整理・整頓の習慣、家事手伝いの習慣、家庭学習の習慣などを小学生のうちに身につけさせていただきたいです。
- (2) 入学して部活動が始まりますと通院の時間も取りにくくなりますので、歯科や耳鼻科・皮膚科などの病気のある生徒は入学前に治しておきましょう。
- (3) 学校生活をする上で注意が必要な心臓病・腎臓病・喘息などの病気等がありましたら、入学後すぐにお知らせください。また、主治医より「学校生活管理指導表」などが出ている場合には、できるだけ早めにご提出をお願いします。
- (4) 中等度以上のアレルギー（喘息・鼻炎・食物・アトピー性皮膚炎・など）がある場合は、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」をご提出いただきますようお願いいたします。お申し出いただければ、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を差し上げます。この管理指導表を基に、より安全に学校での生活ができるように保護者の方と話し合い、連絡を取り合っていきます。

2 給食について

中学校の給食は、選択制です。「給食を申し込む」「弁当を持参する」のどちらかになります。現在は、およそ9割の生徒が給食を選んでいきます。本校の給食は、深大寺小学校の給食調理室で調理され運ばれてきます。小学校に比べて量は多くなりますが、献立は基本的に深大寺小学校と同じものになります。

給食を希望される場合は、学期ごとの申込制になり、各学期前に申込と入金をしていただきます。新1年生は、入学前に教育委員会から郵送される入学通知書に同封されている給食申込書で学校指定のゆうちょ銀行の口座に振り込んでいただきます。給食費は1食あたり340円です。（今後、変更になる可能性もあります。）令和4年度1学期の給食費は65回×340円＝22,100円でした。行事変更などで給食の回数に変更になった場合は、次の学期へ繰越とし、余剰分は来年度に返金いたします。

3 相談室より

本校にはスクールカウンセラーの先生が週2回来ています。保護者の方も利用できます。学校や家庭での心配なことがありましたらお気軽に利用してください。電話での相談も受け付けています。

開室日・時間 木曜日・金曜日 午前9時～午後5時
直通電話 042-487-4571

4 教材費等

各教科で使用する資料集、問題集、材料費などの教材費が必要になります（年間20,930円←令和4年度）。教材費は、ゆうちょ銀行の口座から引き落としをさせていただきます（ゆうちょ銀行の口座が必要になります）。

教材費の他に、1年生の移動教室（スキー）で30,000円程度、3年の修学旅行で60,000円程度の費用が必要になります。経済的に困難なご家庭につきましては、給食費、教材費などについて調布市の就学援助の制度がありますので、ご申請ください。

○ はしうち教室について

第七中学校では、心理的な理由で不登校となっているお子さんのために
はしうち教室が併設されています。

【はしうち教室の教育目標】

社会での自立を目指し、たくましく生きていく力を育みます。

- 豊かな人間関係を築く力を育てる
- 前向きに取り組む意欲を育てる
- 基本的な生活習慣を身に付ける

○ 調布七中ボランティアネットワーク（調布七中 VNW）

地域と共に子どもが大人と育つ学校に向けて

ボランティア担当

ボランティア活動（学校全体で取り組む）

① 環境整備

- ・花の栽培（保護者との連携）
- ・花壇の手入れ
- ・グリーンカーテン（ゴーヤの水やり、夏場毎日）
- ・校内美化（ペンキ塗り・ベンチ作製など）



あいさつ運動

② 生徒活動

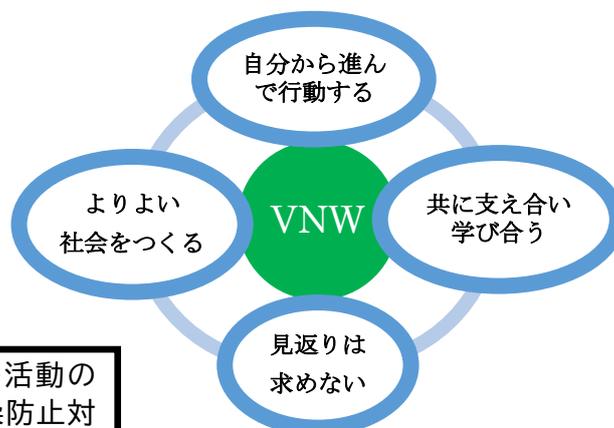
- ・あいさつ運動（6月・11月）
- ・調布警察との非行防止運動（6月・3月）
- ・社会を明るくする運動（7月駅頭広報活動）
- ・落ち葉掃き（10月～11月に、週一回程度行う）
- ・地域清掃・3R活動



調布警察との非行防止運動

③ 地域活動

- ・地域清掃
- ・野川清掃
- ・地域まつり
- ・児童館まつり



コロナ禍になり、計画していた上記の活動の多くは実施できていません。しかし、感染防止対策をしながら、少人数でのあいさつ運動や、長崎へ送るための千羽鶴作成、社会を明るくする運動のスローガングづくりといった活動を実施してきました。

○ 今後の入学に向けての予定

月日	曜日	内容	時間・場所
2023年 2月18日	(土)	新入生保護者説明会	14:00～ 本校 体育館
		標準服の採寸 体操着・上履きの等の販売	15:00～16:30 本校 体育館
		※取り扱いをしている各業者が本校の体育館で採寸、販売をします。 (店舗まで行けば、他の日でも購入できます。)	
4月7日	(金)	入学式	受付8:40～9:00 開式9:30

- 学校選択についての予定は、教育委員会から各家庭に送られる書類をご覧ください。

令和5年度生 標準服採寸、体育着・上履きの販売について

- 1 期日 令和5年2月18日(土) 15:00～16:30 新入生保護者説明会後
- 2 会場 調布市立第七中学校 体育館
- 3 内容詳細

<標準服>

下記の3社で取り扱っています。1月中旬に七中学区の6年生児童の希望者に、小学校を通してパンフレットを配布します。採寸をされる方は当日パンフレットを必ずご持参下さい。後日各店舗にて採寸・購入もできます。

- ・松沢屋 調布市小島町1-34-12 TEL042-482-2634
- ・ムサシノ学生服 武蔵野市吉祥寺本町1-13-2 TEL0422-21-3711
(取次店：トヨカト 国領店)
- ・ユニフォームスタジオ調布店 調布市西つつじが丘4-17-18 TEL042-490-9055
(狛江店：狛江市東和泉1-30-15 TEL03-33430-8586)

<体育着>

当日購入できます。後日下記店舗でも採寸・購入できます。

- ・ワールドスポーツ 調布市菊野台1-20-1 TEL042-483-0215
- 個人名を刺繍しますので、直接来店される場合はなるべく早めをお願いします。

<上履き> (体育館履きと共通です。校内は1足です。)

当日購入できます。後日下記店舗でも購入できます。

- ☆相田文具店 調布市国領町3-10-37 TEL042-486-7887
月～金(9:00～18:30) 土(9:00～18:00) 日曜定休

<標準服><体育着><上履き>の購入についてご質問があれば学校にお問い合わせください。

